

様式1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	一般国道497号（西九州自動車道） 唐津伊万里道路
事業主体	九州地方整備局

●事業採択の前提条件を確認するための指標

		指 標	指標チェックの根拠
前提条件	事業の効率性	■ 便益が費用を上回っている	費用便益比 (B/C) = 2.0 (経済的純現在価値 (B-C) = 730億円、経済的内部収益率 (EIRR) = 8.3%)
	事業実施環境	■ ルート確定済	
		■ 円滑な事業執行の環境が整っている	(周辺の自治体などから積極的な整備促進要望がなされている)

●事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標		指 標 (対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは□を■に変更)	指標チェックの根拠
1. 活力	円滑なモビリティの確保	● 現道等の年間渋滞損失時間及び削減率	並行区間の年間渋滞損失時間(人・時間)及び削減率 ・渋滞損失時間: 21.6万人・時間/年(国道202号) ・渋滞損失削減率: 未整備時65.8万人時間/年→整備時6.3万人時間/年 9割削減(国道202号)
		□ 現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される	
		□ 現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上踏切道の除却もしくは交通改善が期待される	
		□ 現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する	
		□ 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる	
		□ 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる	
	物流効率化の支援	■ 特定重要港湾もしくは国際コンテナ航路の発着港湾へのアクセス向上が見込まれる	九州3位のコンテナ取扱量を誇る「伊万里港」から福岡県方面、「唐津港」から長崎県方面へのアクセス向上が見込まれる(伊万里港～最寄りIC: 35分⇒15分)
	■ 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性が向上	「伊万里梨」の産地である伊万里市から大都市圏への流通の利便性向上が見込まれる	
	□ 現道等における、総重量25tの車両もしくはISO規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する		

1. 活力	都市の再生	<input type="checkbox"/> 都市再生プロジェクトを支援する事業である	
		<input type="checkbox"/> 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する	
		<input type="checkbox"/> 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり	
		<input type="checkbox"/> 中心市街地内で行う事業である	
		<input type="checkbox"/> 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km2以下である市街地内での事業である	
		<input type="checkbox"/> DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する	
		<input type="checkbox"/> 対象区間が現在連絡道路がない住宅地開発(300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上)への連絡道路となる	
	国土・地域ネットワークの構築	<input type="checkbox"/> 高速自動車国道と並行する自専道(A'路線)としての位置づけ有り	
		<input type="checkbox"/> 地域高規格道路の位置づけあり	
		<input checked="" type="checkbox"/> 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する	唐津地方生活圏の中心都市「唐津市」と伊万里二次生活圏の中心都市「伊万里市」を最短で連絡する
		<input type="checkbox"/> 現道等における交通不能区間を解消する	
		<input type="checkbox"/> 現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する	
		<input checked="" type="checkbox"/> 日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる	唐津市北波多地区(旧北波多村)から唐津市中心市街地へのアクセス向上が見込まれる
	個性ある地域の形成	<input type="checkbox"/> 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する	
		<input type="checkbox"/> 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する	
		<input checked="" type="checkbox"/> 主要な観光地へのアクセス向上が期待される	年間観光客数が100万人を超える唐津市、伊万里市内の観光施設へのアクセス向上が見込まれる
		<input type="checkbox"/> 特別立法に基づく事業である	
		<input type="checkbox"/> 新規整備の公共公益施設へ直結する道路である	
2. 暮らし	歩行者・自転車のための生活空間の形成	<input type="checkbox"/> 自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/12h以上、歩行者交通量が500人/日以上全ての該当する区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる	
		<input type="checkbox"/> 交通バリアフリー法における道路特定事業に位置付けがある、または、交通バリアフリー法に基づく重点整備地区における特定経路を形成する区間が新たにバリアフリー化される	
	無電柱化による美しい町並みの形成	<input type="checkbox"/> 対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけ有り	
		<input type="checkbox"/> 市街地又は歴史景観地区(歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区)の幹線道路において新たに無電柱化を達成する	
安全で安心できるくらしの確保	<input checked="" type="checkbox"/> 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる	三次医療施設である福岡大学病院救命救急センターへのアクセス向上が見込まれる	

3. 安全	安全な生活環境の確保	<input checked="" type="checkbox"/> 現道等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存在する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる	並行する国道202号において、唐津市瀬田原交差点、伊万里市南波多町小麦野交差点における死傷事故率が500件/億台キロを超えている
		<input type="checkbox"/> 当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上（当該区間が通学路である場合は500台/12h以上）かつ歩行者交通量100人/日以上（当該区間が通学路である場合は学童、園児が40人/日以上）の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される	
	災害への備え	<input type="checkbox"/> 近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1～2箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する	
		<input checked="" type="checkbox"/> 対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり	並行する国道202号は緊急輸送道路に位置づけられている
		<input checked="" type="checkbox"/> 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する	緊急輸送道路である国道202号が通行止めになった場合の迂回路となる
		<input type="checkbox"/> 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する（A'路線としての位置づけがある場合）	
		<input checked="" type="checkbox"/> 現道等の防災点検又は震災点検要対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される	並行する国道202号には、平成8年度道路防災総点検における要対策箇所（未対策箇所）が3箇所存在する
		<input type="checkbox"/> 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する	
		<input type="checkbox"/> 避難路へ1km以内で到達できる地区が新たに増加する	
<input type="checkbox"/> 幅員6m以上の道路がないため消火活動が出来ない地区が解消する			
4. 環境	地球環境の保全	<input checked="" type="checkbox"/> 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	CO2排出削減量：5,127 t-CO2/年
	生活環境の改善・保全	<input checked="" type="checkbox"/> 現道等における自動車からのNO2排出削減率	（現況） 自動車NOx・PM法対策地域指定の別：対象地域外 （推計結果） 評価対象区間（現道/平行区間等）：費用便益分析対象区間 排出削減率：0.1%削減
		<input checked="" type="checkbox"/> 現道等における自動車からのSPM排出削減率	（現況） 自動車NOx・PM法対策地域指定の別：対象地域外 （推計結果） 評価対象区間（現道/平行区間等）：費用便益分析対象区間 排出削減率：0.6%削減
		<input type="checkbox"/> 現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある	
		<input type="checkbox"/> その他、環境や景観上の効果が期待される	
5. その他	他のプロジェクトとの関係	<input type="checkbox"/> 関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり	
		<input type="checkbox"/> 他機関との連携プログラムに位置づけられている	
		<input type="checkbox"/> 道路の整備に関するプログラム又は都市計画道路整備プログラムに位置づけられている	
		<input type="checkbox"/> その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる	

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BPの別
一般国道497号	唐津伊万里道路	18.1 km	高規格 B	BP

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
29,700	4	九州地方整備局

① 費用

	改築費	維持修繕費	合計
基準年	平成18年度		
単純合計	841億円	178億円	1,019億円
うち残事業分	643億円	178億円	821億円
基準年における 現在価値 (C)	685億円	70億円	755億円
うち残事業分	471億円	70億円	541億円

② 便 益

	走行時間 短縮便益	走行費用 短縮便益	交通事故 減少便益	合 計
基準年	平成18年度			
供用年	平成24年度			
単年便益 (初年便益)	45億円	8億円	4億円	57億円
基準年における 現在価値 (B)	1,191億円	187億円	107億円	1,485億円
うち残事業分	1,191億円	187億円	107億円	1,485億円

③ 結 果

費用便益比 (事業全体)	2.0
費用便益比 (残事業)	2.8

注) 費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

交通状況の変化

事業名：唐津伊万里道路（事業全体・残事業）

（推計時点 H42年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 [バイパス等] 唐津伊万里道路 : 18.1km	交通量	[台/日]	0	27,900	
	走行時間	[分]	0	14	
	走行時間費用	[億円/年]	0	95	
②主な周辺道路	現道(国道 202号) : 17.6km	交通量	[台/日]	16,800	4,900
		走行時間	[分]	26	23
		走行時間費用	[億円/年]	109	28
	国道204号 他 : 36.2km	交通量	[台/日]	9,700	8,400
		走行時間	[分]	53	53
		走行時間費用	[億円/年]	130	114
	主_相知山 内線 他 : 20.9km	交通量	[台/日]	12,900	8,800
		走行時間	[分]	29	29
		走行時間費用	[億円/年]	68	38
	九州横断 九州縦貫 : 78.0km	交通量	[台/日]	23,300	20,900
		走行時間	[分]	55	55
		走行時間費用	[億円/年]	320	286
③その他道路合計 : 2575.0km	走行時間費用	[億円/年]	5,843	5,818	
			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計 : 2745.8km	走行時間短縮便益	[億円/年]	6,470	6,379	91

※ 四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

※1：交通量については、当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

※2：走行時間については、配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3：走行時間費用については、費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4：主な周辺道路については、当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

事業名：唐津伊万里道路（事業全体・残事業）



費用便益分析の条件

事業名：一般国道497号唐津伊万里道路

(2)

項目		チェック欄
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成15年8月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	<input checked="" type="checkbox"/>
	その他	<input type="checkbox"/>
分析の基本的事項	分析対象期間	40年間
	社会的割引率	4%
	基準年次	平成18年
交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (H42)
	複数時点での推計	<input type="checkbox"/>
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>
	整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H11センサス)
	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>
	その他()	<input type="checkbox"/>
開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>
	有	<input type="checkbox"/>
	有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) 考慮した理由を記載 ()台トリップ/日
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input checked="" type="checkbox"/>
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>
	簡易手法	<input type="checkbox"/>
	簡易手法の場合	小規模事業である 山間部海岸部で併行道路が少ない その他()
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定 採用理由を記載 各道路区間(リンク)毎の混雑の度合いに応じた速度差を考慮するとともに、1日の平均的な走行状態を表現するため「加重平均速度」を用いた。	<input checked="" type="checkbox"/>
	最終配分の速度 採用理由を記載	<input type="checkbox"/>
	その他()	<input type="checkbox"/>
	その他()	<input type="checkbox"/>

費用の現在価値算定表

維持修繕費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

採用単価の根拠 一般国道(直轄)

箇所名: 一般国道497号唐津伊万里道路(事業全体)

単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)
0.27	18.1	4.89

年次	年度	割引率	事業費(億円)		維持修繕費(億円)	
			単純単価	現在単価	単純単価	現在単価
-20年目	H 4	1.7317	1	2		
-19年目	H 5	1.6651	1	2		
-18年目	H 6	1.6010	4	6		
-17年目	H 7	1.5395	2	2		
-16年目	H 8	1.4802	1	2		
-15年目	H 9	1.4233	2	3		
-14年目	H 10	1.3686	3	5		
-13年目	H 11	1.3159	12	16		
-12年目	H 12	1.2653	15	19		
-11年目	H 13	1.2167	13	15		
-10年目	H 14	1.1699	13	15		
-9年目	H 15	1.1249	17	19		
-8年目	H 16	1.0816	28	31		
-7年目	H 17	1.0400	36	38		
-6年目	H 18	1.0000	49	49		
-5年目	H 19	0.9615	66	64		
-4年目	H 20	0.9246	66	61		
-3年目	H 21	0.8890	66	59		
-2年目	H 22	0.8548	66	57		
-1年目	H 23	0.8219	66	54		
供用開始年次	H 24	0.7903	34	27	2	2
1年目	H 25	0.7599	34	26	2	2
2年目	H 26	0.7307	16	12	3	2
3年目	H 27	0.7026	16	11	3	2
4年目	H 28	0.6756			5	3
5年目	H 29	0.6496			5	3
6年目	H 30	0.6246			5	3
7年目	H 31	0.6006			5	3
8年目	H 32	0.5775			5	3
9年目	H 33	0.5553			5	3
10年目	H 34	0.5339	53	28	5	2
11年目	H 35	0.5134	53	27	5	2
12年目	H 36	0.4936	53	26	5	2
13年目	H 37	0.4746	53	25	5	2
14年目	H 38	0.4564			5	2
15年目	H 39	0.4388			5	2
16年目	H 40	0.4220			5	2
17年目	H 41	0.4057			5	2
18年目	H 42	0.3901			5	2
19年目	H 43	0.3751			5	2
20年目	H 44	0.3607			5	2
21年目	H 45	0.3468			5	2
22年目	H 46	0.3335			5	2
23年目	H 47	0.3207			5	1
24年目	H 48	0.3083			5	1
25年目	H 49	0.2965			5	1
26年目	H 50	0.2851			5	1
27年目	H 51	0.2741			5	1
28年目	H 52	0.2636			5	1
29年目	H 53	0.2534			5	1
30年目	H 54	0.2437			5	1
31年目	H 55	0.2343			5	1
32年目	H 56	0.2253			5	1
33年目	H 57	0.2166			5	1
34年目	H 58	0.2083			5	1
35年目	H 59	0.2003			5	1
36年目	H 60	0.1926			5	1
37年目	H 61	0.1852			5	1
38年目	H 62	0.1780			5	1
39年目	H 63	0.1712	-94	-16	5	1
合計			747	685	178	70
単純事業費計			841		178	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
 (投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

注3) 維持修繕費は便益算出マニュアルの参考値を基本としている。

費用の現在価値算定表

維持修繕費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

採用単価の根拠 一般国道(直轄)

箇所名: 一般国道497号唐津伊万里道路(残事業)

単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)
0.27	18.1	4.89

年次	年度	割引率	事業費(億円)		維持修繕費(億円)	
			単純単価	現在単価	単純単価	現在単価
-20年目	H 4	1.7317				
-19年目	H 5	1.6651				
-18年目	H 6	1.6010				
-17年目	H 7	1.5395				
-16年目	H 8	1.4802				
-15年目	H 9	1.4233				
-14年目	H 10	1.3686				
-13年目	H 11	1.3159				
-12年目	H 12	1.2653				
-11年目	H 13	1.2167				
-10年目	H 14	1.1699				
-9年目	H 15	1.1249				
-8年目	H 16	1.0816				
-7年目	H 17	1.0400				
-6年目	H 18	1.0000				
-5年目	H 19	0.9615	66	64		
-4年目	H 20	0.9246	66	61		
-3年目	H 21	0.8890	66	59		
-2年目	H 22	0.8548	66	57		
-1年目	H 23	0.8219	66	54		
供用開始年次	H 24	0.7903	34	27	2	2
1年目	H 25	0.7599	34	26	2	2
2年目	H 26	0.7307	16	12	3	2
3年目	H 27	0.7026	16	11	3	2
4年目	H 28	0.6756			5	3
5年目	H 29	0.6496			5	3
6年目	H 30	0.6246			5	3
7年目	H 31	0.6006			5	3
8年目	H 32	0.5775			5	3
9年目	H 33	0.5553			5	3
10年目	H 34	0.5339	53	28	5	2
11年目	H 35	0.5134	53	27	5	2
12年目	H 36	0.4936	53	26	5	2
13年目	H 37	0.4746	53	25	5	2
14年目	H 38	0.4564			5	2
15年目	H 39	0.4388			5	2
16年目	H 40	0.4220			5	2
17年目	H 41	0.4057			5	2
18年目	H 42	0.3901			5	2
19年目	H 43	0.3751			5	2
20年目	H 44	0.3607			5	2
21年目	H 45	0.3468			5	2
22年目	H 46	0.3335			5	2
23年目	H 47	0.3207			5	1
24年目	H 48	0.3083			5	1
25年目	H 49	0.2965			5	1
26年目	H 50	0.2851			5	1
27年目	H 51	0.2741			5	1
28年目	H 52	0.2636			5	1
29年目	H 53	0.2534			5	1
30年目	H 54	0.2437			5	1
31年目	H 55	0.2343			5	1
32年目	H 56	0.2253			5	1
33年目	H 57	0.2166			5	1
34年目	H 58	0.2083			5	1
35年目	H 59	0.2003			5	1
36年目	H 60	0.1926			5	1
37年目	H 61	0.1852			5	1
38年目	H 62	0.1780			5	1
39年目	H 63	0.1712	-34	-6	5	1
合計			608	471	178	70
単純事業費計			643		178	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
 (投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

注3) 維持修繕費は便益算出マニュアルの参考値を基本としている。

便益の現在価値算定表

箇所名：一般国道497号唐津伊万里道路(事業全体)

年次	年度 (基準年) H18	総走行台キロの年次別伸び率 (北九州ブロック)			割引率 (A)	走行時間短縮便益(億円)						走行経費減少便益(億円)				事故減少便益(億円)		合計 (億円)			
		乗用車種別	貨物車種別	全車		乗用車	バス	小型貨物	普通貨物	①計	現在価値 ①×(A)	乗用車	バス	小型貨物	普通貨物	②計	現在価値 (A)×②	③	現在価値 ③×(A)	便益合計 (①~③)	現在価値 割引率4%
供用開始年次	H 24	1.00769	0.99865	1.00510	0.7903	24	3	10	8	45	36	3	0	3	2	8	7	4	3	57	45
1年目	H 25	1.00763	0.99865	1.00507	0.7599	24	3	10	8	45	34	3	0	3	2	8	6	4	3	57	44
2年目	H 26	1.00757	0.99865	1.00504	0.7307	29	4	13	9	55	40	4	0	4	2	10	7	5	4	70	51
3年目	H 27	1.00751	0.99865	1.00502	0.7026	29	4	13	9	55	39	4	0	4	2	10	7	5	4	70	49
4年目	H 28	1.00746	0.99864	1.00499	0.6756	34	5	15	11	64	43	4	0	4	3	12	8	6	4	82	56
5年目	H 29	1.00740	0.99864	1.00497	0.6496	35	5	15	11	65	42	4	0	4	3	12	7	6	4	82	54
6年目	H 30	1.00735	0.99864	1.00494	0.6246	35	5	15	11	65	41	4	0	4	3	12	7	6	4	83	52
7年目	H 31	1.00729	0.99864	1.00492	0.6006	35	5	15	11	65	39	4	0	4	3	12	7	6	4	83	50
8年目	H 32	1.00157	0.99595	1.00004	0.5775	35	5	15	11	65	38	4	0	4	3	12	7	6	4	83	48
9年目	H 33	1.00157	0.99594	1.00004	0.5553	35	5	14	11	65	36	4	0	4	3	12	6	6	4	83	46
10年目	H 34	1.00156	0.99592	1.00004	0.5339	36	5	14	11	65	35	4	0	4	3	12	6	6	3	83	44
11年目	H 35	1.00156	0.99590	1.00004	0.5134	36	5	14	11	65	34	4	0	4	3	12	6	6	3	83	43
12年目	H 36	1.00156	0.99589	1.00004	0.4936	36	5	14	10	65	32	4	0	4	3	12	6	6	3	83	41
13年目	H 37	1.00156	0.99587	1.00004	0.4746	36	5	14	10	65	31	4	0	4	3	11	5	6	3	83	39
14年目	H 38	1.00156	0.99585	1.00004	0.4564	50	7	20	15	91	42	5	0	5	3	13	6	8	4	112	51
15年目	H 39	1.00155	0.99584	1.00004	0.4388	50	7	20	15	91	40	5	0	5	3	13	6	8	3	112	49
16年目	H 40	1.00155	0.99582	1.00004	0.4220	50	7	20	15	91	38	5	0	5	3	13	5	8	3	112	47
17年目	H 41	1.00155	0.99580	1.00004	0.4057	50	7	20	14	91	37	5	0	5	3	13	5	8	3	112	45
18年目	H 42	0.99690	0.99472	0.99633	0.3901	50	7	20	14	91	35	5	0	5	3	13	5	8	3	111	43
19年目	H 43	0.99689	0.99469	0.99632	0.3751	50	7	19	14	91	34	5	0	5	3	13	5	8	3	111	42
20年目	H 44	0.99688	0.99467	0.99630	0.3607	50	7	19	14	90	33	5	0	5	3	13	5	8	3	111	40
21年目	H 45	0.99687	0.99464	0.99629	0.3468	50	7	19	14	90	31	5	0	5	3	13	4	8	3	110	38
22年目	H 46	0.99686	0.99461	0.99628	0.3335	50	7	19	14	89	30	5	0	4	3	13	4	8	3	110	37
23年目	H 47	0.99685	0.99458	0.99626	0.3207	49	7	19	14	89	29	5	0	4	3	13	4	8	2	109	35
24年目	H 48	0.99684	0.99455	0.99625	0.3083	49	7	19	14	89	27	5	0	4	3	12	4	8	2	109	34
25年目	H 49	0.99683	0.99452	0.99623	0.2965	49	7	19	14	88	26	5	0	4	3	12	4	8	2	108	32
26年目	H 50	0.99682	0.99449	0.99622	0.2851	49	7	19	14	88	25	5	0	4	3	12	4	8	2	108	31
27年目	H 51	0.99681	0.99446	0.99621	0.2741	49	7	19	14	88	24	5	0	4	3	12	3	7	2	107	29
28年目	H 52	0.99634	0.99695	0.99650	0.2636	49	7	19	14	87	23	5	0	4	3	12	3	7	2	107	28
29年目	H 53	0.99632	0.99695	0.99648	0.2534	48	7	18	14	87	22	5	0	4	3	12	3	7	2	107	27
30年目	H 54	0.99631	0.99694	0.99647	0.2437	48	7	18	14	87	21	5	0	4	3	12	3	7	2	106	26
31年目	H 55	0.99630	0.99693	0.99646	0.2343	48	7	18	13	86	20	5	0	4	3	12	3	7	2	106	25
32年目	H 56	0.99628	0.99692	0.99645	0.2253	48	7	18	13	86	19	5	0	4	3	12	3	7	2	106	24
33年目	H 57	0.99627	0.99691	0.99643	0.2166	48	7	18	13	86	19	5	0	4	3	12	3	7	2	105	23
34年目	H 58	0.99625	0.99690	0.99642	0.2083	47	7	18	13	86	18	5	0	4	3	12	3	7	2	105	22
35年目	H 59	0.99624	0.99689	0.99641	0.2003	47	7	18	13	85	17	5	0	4	3	12	2	7	1	104	21
36年目	H 60	0.99623	0.99688	0.99639	0.1926	47	7	18	13	85	16	5	0	4	3	12	2	7	1	104	20
37年目	H 61	0.99621	0.99687	0.99638	0.1852	47	6	18	13	85	16	5	0	4	3	12	2	7	1	104	19
38年目	H 62	0.99620	0.99686	0.99637	0.1780	47	6	18	13	84	15	5	0	4	3	12	2	7	1	103	18
39年目	H 63	0.99618	0.99685	0.99635	0.1712	47	6	18	13	84	14	5	0	4	3	12	2	7	1	103	18
合計						1,723	236	678	498	3,136	1,191	183	14	170	107	473	187	277	107	3,886	1,485

便益の現在価値算定表

箇所名：一般国道497号唐津伊万里道路(残事業)

年次	年度 (基準年) H18	総走行台キロの年次別伸び率 (北九州ブロック)			割引率 (A)	走行時間短縮便益(億円)						走行経費減少便益(億円)				事故減少便益(億円)		合計 (億円)			
		乗用車種	貨物車種	全車		乗用車	バス	小型貨物	普通貨物	①計	現在価値 ①×(A)	乗用車	バス	小型貨物	普通貨物	②計	現在価値 (A)×②	③	現在価値 ③×(A)	便益合計 (①~③)	現在価値 割引率4%
供用開始年次	H 24	1.00769	0.99865	1.00510	0.7903	24	3	10	8	45	36	3	0	3	2	8	7	4	3	57	45
1年目	H 25	1.00763	0.99865	1.00507	0.7599	24	3	10	8	45	34	3	0	3	2	8	6	4	3	57	44
2年目	H 26	1.00757	0.99865	1.00504	0.7307	29	4	13	9	55	40	4	0	4	2	10	7	5	4	70	51
3年目	H 27	1.00751	0.99865	1.00502	0.7026	29	4	13	9	55	39	4	0	4	2	10	7	5	4	70	49
4年目	H 28	1.00746	0.99864	1.00499	0.6756	34	5	15	11	64	43	4	0	4	3	12	8	6	4	82	56
5年目	H 29	1.00740	0.99864	1.00497	0.6496	35	5	15	11	65	42	4	0	4	3	12	7	6	4	82	54
6年目	H 30	1.00735	0.99864	1.00494	0.6246	35	5	15	11	65	41	4	0	4	3	12	7	6	4	83	52
7年目	H 31	1.00729	0.99864	1.00492	0.6006	35	5	15	11	65	39	4	0	4	3	12	7	6	4	83	50
8年目	H 32	1.00157	0.99595	1.00004	0.5775	35	5	15	11	65	38	4	0	4	3	12	7	6	4	83	48
9年目	H 33	1.00157	0.99594	1.00004	0.5553	35	5	14	11	65	36	4	0	4	3	12	6	6	4	83	46
10年目	H 34	1.00156	0.99592	1.00004	0.5339	36	5	14	11	65	35	4	0	4	3	12	6	6	3	83	44
11年目	H 35	1.00156	0.99590	1.00004	0.5134	36	5	14	11	65	34	4	0	4	3	12	6	6	3	83	43
12年目	H 36	1.00156	0.99589	1.00004	0.4936	36	5	14	10	65	32	4	0	4	3	12	6	6	3	83	41
13年目	H 37	1.00156	0.99587	1.00004	0.4746	36	5	14	10	65	31	4	0	4	3	11	5	6	3	83	39
14年目	H 38	1.00156	0.99585	1.00004	0.4564	50	7	20	15	91	42	5	0	5	3	13	6	8	4	112	51
15年目	H 39	1.00155	0.99584	1.00004	0.4388	50	7	20	15	91	40	5	0	5	3	13	6	8	3	112	49
16年目	H 40	1.00155	0.99582	1.00004	0.4220	50	7	20	15	91	38	5	0	5	3	13	5	8	3	112	47
17年目	H 41	1.00155	0.99580	1.00004	0.4057	50	7	20	14	91	37	5	0	5	3	13	5	8	3	112	45
18年目	H 42	0.99690	0.99472	0.99633	0.3901	50	7	20	14	91	35	5	0	5	3	13	5	8	3	111	43
19年目	H 43	0.99689	0.99469	0.99632	0.3751	50	7	19	14	91	34	5	0	5	3	13	5	8	3	111	42
20年目	H 44	0.99688	0.99467	0.99630	0.3607	50	7	19	14	90	33	5	0	5	3	13	5	8	3	111	40
21年目	H 45	0.99687	0.99464	0.99629	0.3468	50	7	19	14	90	31	5	0	5	3	13	4	8	3	110	38
22年目	H 46	0.99686	0.99461	0.99628	0.3335	50	7	19	14	89	30	5	0	4	3	13	4	8	3	110	37
23年目	H 47	0.99685	0.99458	0.99626	0.3207	49	7	19	14	89	29	5	0	4	3	13	4	8	2	109	35
24年目	H 48	0.99684	0.99455	0.99625	0.3083	49	7	19	14	89	27	5	0	4	3	12	4	8	2	109	34
25年目	H 49	0.99683	0.99452	0.99623	0.2965	49	7	19	14	88	26	5	0	4	3	12	4	8	2	108	32
26年目	H 50	0.99682	0.99449	0.99622	0.2851	49	7	19	14	88	25	5	0	4	3	12	4	8	2	108	31
27年目	H 51	0.99681	0.99446	0.99621	0.2741	49	7	19	14	88	24	5	0	4	3	12	3	7	2	107	29
28年目	H 52	0.99634	0.99695	0.99650	0.2636	49	7	19	14	87	23	5	0	4	3	12	3	7	2	107	28
29年目	H 53	0.99632	0.99695	0.99648	0.2534	48	7	18	14	87	22	5	0	4	3	12	3	7	2	107	27
30年目	H 54	0.99631	0.99694	0.99647	0.2437	48	7	18	14	87	21	5	0	4	3	12	3	7	2	106	26
31年目	H 55	0.99630	0.99693	0.99646	0.2343	48	7	18	13	86	20	5	0	4	3	12	3	7	2	106	25
32年目	H 56	0.99628	0.99692	0.99645	0.2253	48	7	18	13	86	19	5	0	4	3	12	3	7	2	106	24
33年目	H 57	0.99627	0.99691	0.99643	0.2166	48	7	18	13	86	19	5	0	4	3	12	3	7	2	105	23
34年目	H 58	0.99625	0.99690	0.99642	0.2083	47	7	18	13	86	18	5	0	4	3	12	3	7	2	105	22
35年目	H 59	0.99624	0.99689	0.99641	0.2003	47	7	18	13	85	17	5	0	4	3	12	2	7	1	104	21
36年目	H 60	0.99623	0.99688	0.99639	0.1926	47	7	18	13	85	16	5	0	4	3	12	2	7	1	104	20
37年目	H 61	0.99621	0.99687	0.99638	0.1852	47	6	18	13	85	16	5	0	4	3	12	2	7	1	104	19
38年目	H 62	0.99620	0.99686	0.99637	0.1780	47	6	18	13	84	15	5	0	4	3	12	2	7	1	103	18
39年目	H 63	0.99618	0.99685	0.99635	0.1712	47	6	18	13	84	14	5	0	4	3	12	2	7	1	103	18
合計						1,723	236	678	498	3,136	1,191	183	14	170	107	473	187	277	107	3,886	1,485